

職員の幸せを

朝の言葉（一九七四年～）

同じ病院で働いていても働く部署が違くと、殆ど出逢うこともなく、言葉を交わすこともなく過ぎてしまうことが、しばしばです。

折角の出合いを大切にし、その交流を深めるために、全職員が交代で毎朝、自分の考えを全館に放送する「朝の言葉」を一九七四年から始めました。

日頃自分が考えていることを、院内放送でお話するためには、あれこれ考えを巡らせたり、場合によっては何冊か本を読んだりしなくてはなりませんから、放送することが、人間としての成長を促す効果があるのではないのでしょうか。

また、この放送を聞く職員にとっては、同じ職場にこんな考えを持った人がいるんだと視野が広がったり、私と同じ趣味を持つ人がいるんだと親しみや共感を感じたりするのではないのでしょうか。

毎朝、朝の放送に楽しく耳を傾けています。